

インタビュー

NGNの新サービスへの対応に加え、NGNを最大限活用し、C&Cクラウドの強化を図る

NGN構築への貢献に加え、NGNを活用したサービス創出に注力してきたNECが、「ひかり電話」の新サービス提供に合わせ、NGN活用拡大に向けた取組みを一段と加速している。NECの全社事業戦略である“C&Cクラウド”には、NGNのような進化したネットワークが不可欠とする今井正道執行役員・NTT事業本部長に、NECのNGN活用拡大に向けた取組みについてうかがった。

NGNインフラの構築、活用拡大に貢献

—NTT東西地域会社が、本年6月からNGNの新サービス「データコネク」¹と「ひかり電話ナンバーゲート」²の提供を開始しました。「ひかり電話」の新サービス登場で、NGNの活用が一段と加速すると期待されています。当初よりNGNの構築支援及びNGNの活用ソリューションの開拓・展開に積極的に取り組まれてきた貴社として、NGNの進化についてどのようにお考えですか。

今井 NECは、コアルータ、エッジルータ、光トランスポート装置、IPサーバ群、他網との接続装置など、NGNインフラの全領域で幅広い製品の納入の実績があります。2008年3月に提供開始したNGNの商用サービス「フレッツ 光ネクスト」³の提供エリアは、NTT東日本エリアでは2009年度の後半にBフレッツの提供エリア全域への拡大が完了し、NTT西日本エリアでは2010年度中に現行の光アクセスサービス提供エリア全域にまで拡大す

る計画とのことで、国内ほぼ全ての地域でNGNを利用可能な環境が整うこととなります。このようなNGNのエリア拡大に加え、本年6月からNGNの魅力をさらに向上させる新サービスが提供されたということで、NGNの利用がより一層拡大するものと期待しております。私どもは、NGNの商用化に合わせてNGN対応機器を開発・提供し、商用化以後はNGNを活用した各種ソリューションの創出・展開を進めてまいりました。当然、今回の新サービス提供に合わせて、対応製品を開発しており、5月31日の新サービスの発表の際には、デモ等のサポートもさせていただきました。今後もNGN市場の拡大に向けた取組みを進めていきたいと考えています。

NGN1回線で、4種類のサービスが利用可能に

—NGNの新サービスのポイントは、どこにあるとお考えですか。

今井 6月1日に開始した新サービ



日本電気株式会社
執行役員 NTT事業本部長
今井 正道氏

ス「データコネク」はフレッツ 光ネクストの利用が前提ですが、2009年度末で1014万加入ものユーザーを抱える「ひかり電話」の基本サービスが拡充されたことに大きな意義があると捉えています。ひかり電話に加入すれば、通常の音声電話に加えて、高音質電話、テレビ電話、帯域確保型データ通信を必要とときにいつでも利用できるようになりました。どのサービスも使った分だけの支払いで済む従量制料金のため、ユーザーにとって様々なケースでコストメリットが出てくると考えています。また、「ひかり電話ナンバーゲート」が提供されたことで、NGNのSNI（application Server Network Interface）の用途が拡大しました。サービス提供事業者（ASP/SaaS事業者など）や企業のデータセンタ向



図1 NECのNGN対応製品開発状況

が、新サービスに対応した製品開発状況をお聞かせください。

今井 NGN対応製品としては、これまでWEB会議システム、テレビ会議端末、映像配信サーバ、IP-PBX、さらにはNGN限定ではありませんが、NTTぷらら様が提供する「ひかりTV」対応PCを開発し、市場投入しています。またつい最近、「ひかりTV」対応のハードディスク内蔵チューナーを開発・提供しています。今回の新サービスへの対応製品としては、「ひかり電話ナンバーゲート」対応の多地点TV会議システム、「データコネクト」対応のVPNルータ、「データコネクト」対応予定のPOS端末（開発はグループ会社のNECインフロンティア）があります。

けの利用が広がると思います。今回のサービス拡充で、ユーザーは、NGN1回線で音声／TV電話、帯域確保型データ通信、映像配信、インターネット接続の4種類のサービスが利用可能になります。特に、電話からデータ通信まで利用する多店舗

型小売業などにとってはメリットの大きいサービスといえます。

新サービス対応製品の開発に加え、NGNの社内利用を加速

——詳細は後続の頁でご紹介します

NTT東西が「ひかり電話」のサービスラインナップを拡充 NGNの新サービス「データコネクト」／「ひかり電話ナンバーゲート」を提供開始

NTT東日本・NTT西日本は、NGN対応の「フレッツ 光ネクスト」のユーザーが、03など市外局番から始まる電話番号を使えるIP電話サービス「ひかり電話」を使って帯域確保型のデータ通信を実現する「データコネクト」及び、音声・映像通信にも対応した大容量・多チャンネルのセンター拠点向け光IP電話サービス「ひかり電話ナンバーゲート」の提供を本年6月1日より提供開始している。

「データコネクト」は、NGNユーザー拠点間で必要な時に、電話番号により接続することでNGNならではのQoS制御機能を用いたセキュアで安定した帯域確保型のデータ通信を実現するサービスで、小容量（64kbps）からメガ（1Mbps）までの帯域設定と、短時間利用に適した30秒単位の従量料金制が特徴だ。主な利用シーンとしては、POSレジからの売上情報の送受信やクレジットカードの与信紹介、電子マネーの決済、センサーによる設備管理、さらには高画質な画像をスピーディかつ安価に送受可能なIP-FAXなど、間欠的なデータ通信が発生する場合に最適で、必要な時だけダイヤルアップ接続することで、セキュアで秘匿性が高く、かつ安定したデータ通信が可能である。

一方、「ひかり電話ナンバーゲート」はサービス提供事業者（ASP等）や企業向けのサービスだ。帯域確保された双方向通信が可能で、最大200回線分の同時接続ができ、多拠点と接続するテレビ会議等のセンター拠点回線に利用できる。大容量帯域メニューを100Mbpsから800Mbpsまで、100Mbps単位で8種類用意されているため、高品質の多地点テレビ電話会議等、大容量の帯域が必要なユーザーの利用用途に応じて最適なメニューを選択できる。主な利用シーンとして、高品質の多地点テレビ電話会議、店舗・小規模拠点とセンター拠点間での利用などが想定されている。

今後、これらの製品を活用して、お客様にNGN活用ソリューションを積極的に提供していきたいと考えています。また、社内でのNGN利活用も加速しており、例えば、東京と大阪にあるNECブロードバンドソリューションセンターでNGNテレビ会議システムを試験導入したケースでは、年間約6000万円の費用削減、さらにCO₂排出量は約16トン/年の削減効果を確認しました。利用者の立場でもNGNのメリットを実感しており、社内でのNGN活用を拡大しています。

また、グループ会社のNECモバイルリングがNGNを用いて、対面販売にハイビジョン対応のテレビ会議システムを活用するという動きもあります。

さらに、NGNパートナープログラムを通して、アライアンスパートナーと連携したNGN活用ソリューションの展開にも注力しています。現在、NGNパートナープログラムには18社が参加しています。

NGNを「C&Cクラウド」の基盤に

— 貴社は、今後の成長戦略の柱として「C&Cクラウド戦略」を掲げていますが、C&Cクラウドの基盤はセキュアで高品質なNGNを想定されているのですか。

今井 私どもは、本格的なクラウド時代の到来を見据え、今後の成長の原動力となる「C&Cクラウド」の実現を全社事業戦略として掲げてい

ます。これは、社会インフラと企業システムが有機的に結合し、利便性の高い新たなサービスを創出するC&Cクラウドを実現しようというものです。私ども

もは、すでにC&Cクラウド戦略を着々と実行しています。クラウド環境への自社基幹システムの刷新のほか、様々なクラウドサービスを提供するための製品・サービス群の拡充を進めています。また、お客様向けにも既にクラウド時代を見据えたシステム・サービスの提供を行っています。

ミッションクリティカル&リアルタイム、ユビキタステクノロジー、グリーンテクノロジー、共通プラットフォームの4つのコアテクノロジーをベースに、高効率・高信頼のクラウド基盤を実現し、クラウドサービス事業、クラウド環境構築事業、プラットフォーム事業でお客様に貢献していきます。その際に重要となるのが、高速・大容量データ通信をセキュアに実現するNGNであると捉えています。電話網の特徴を受け継ぐNGNは、公衆網であり、電話の仕組みと同様に、電話番号を活用して誰とでもセキュアな通信が可能です。クラウド環境でサービスとユーザーを結び付ける自由度の高いネ

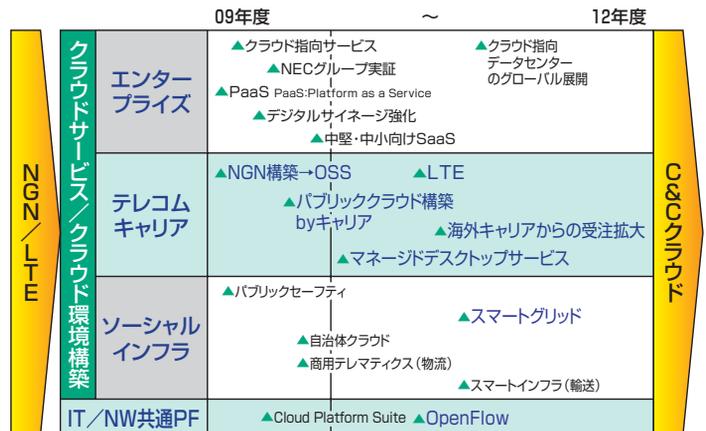


図2 NECの「C&Cクラウド戦略」

ットワークとしてはインターネットが挙げられますが、安定性の確保には課題があり、セキュリティ面での不安もぬぐいきれません。その意味では、誰とでもつながる自由度を確保しながら、電話と同等のセキュアさで通信を実現できるNGNはとても優れたネットワークサービスです。そのNGNサービスをすでに商用展開し、全国展開の完了目前にあるわが国は、クラウドサービスやクラウド環境構築にあたって非常に恵まれた環境にあると思っています。今回のNGNの新サービスへの対応も、C&Cクラウド戦略の一環として進めています。また、NTTドコモ様は、本年12月にLTEの商用サービスを開始する予定です。こちらも便利で快適なクラウド環境の実現に有用であると期待しています。

— 本日は有り難うございました。

(聞き手・構成：編集長 河西義人)